

第5回

「森づくり活動団体」意見交換会を開催！

1月31日に、森づくりサポーターとして登録され、定期的に活動されている団体（ふくの会・さんまる会・森楽・みいの会・フオレスト・32期園芸・レイカ33会・みろく会・レイカ36会・さんなな会・みなの会・はやのの森探検隊・花の38会・ENG39A）の代表者など31名が集まり、5回目となる意見交換会が行われました。

まず、それぞれの団体の紹介・活動状況として、「雨の日は勉強会をしている」、「担当地の四阿周りにセンリョウ、マンリョウの種をまいた」、「森の小道づくり、シイタケの収穫の多い少ない、参加状況の良し悪し、などのお話を伺いました。

続いで、意見交換では、「つくった森の小道に誘うためにアジサイを植えたい」、「活動への参加者が少なくなってきたので、活動日を他の団体と合同にしたい」、「草刈り機を増やしてほしい」などの要望がありました。また、「水路で遊べないか、水や生き物と関われる仕掛けをつくりたい。以前、橋をつくった。」などの意見もありました。安全に配慮しながら、間伐材の杭や粗朶などを活用して、何か作りたいと思います。

また、「森のつどい」の体験コーナーの開始時間について、「早いブースと、時間を守っているブースとがある」との課題があげられました。これについては、周知徹底が必要ですが、「ふれあいウォークからの帰り具合を見て、開始の放送がありますので、それまで待つてほしい」ということでした。

今井サポーター代表から、「育樹活動やクラフト・シイタケ栽培などの間伐材利用と併せて、森の（空間・場所）の利活用についても知恵をお借りたい。」旨の発言がありました。将来の利用の方法・目的によって、間伐の方法や程度も変える必要があると考えます。

森づくりアドバイザーの中村先生からは、「『森のつどい』の体験ブースでは子供たちが夢中になっています。最近の子供たちは『忙しい』ようで自然体験が少ないので、準備は大変かと思いますが、秋にもう一回、クラフトなどの体験コーナーを開催できないでしょうか。」と提案がありました。地元の行事とのタイアップなど、いろいろやってみたいと思います。

サポーターの皆様、無理せず、楽しみながら、息の長い活動をお願いします。



草刈り



「しおり」に四つ葉のクローバーを



体験ブース、クラフトの準備

お知らせ

びわこ地球市民の森のつどい2019について

2019年度のつどいは、「育もう みどりの未来 つないでいこう みどりのバトン」をテーマに5月26日（日）に開催します。

緑あふれる森のつどいに多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

2019年度森づくりサポーター活動の予定

2019年 5月26日（日）	びわこ地球市民の森のつどい2019
2019年 7月27日（土）	植栽地の育樹活動と自然学習など
2019年10月12日（土）	植栽地の育樹活動と自然学習など
2020年 3月 7日（土）	植栽地の育樹活動と自然学習など